

貿易

主要データ（2022年※数値はいずれも神戸税関のもの）

◎輸出入総額	807.87億円（前年比+18.6%）
◎輸出額	355.06億円（前年比-2.1%）
◎輸入額	452.81億円（前年比+42.2%）

貿易取引状況を神戸税関高知税関支署の統計でみると、2022年の輸出入総額は前年比18.6%増の807億8,700万円となっている。輸出は前年比2.1%減の355億600万円となり、前年比微減であった。一方、輸入は前年比42.2%増の452億8,100万円となり、直近30年間ににおける最高額を更新した【貿易-1】。

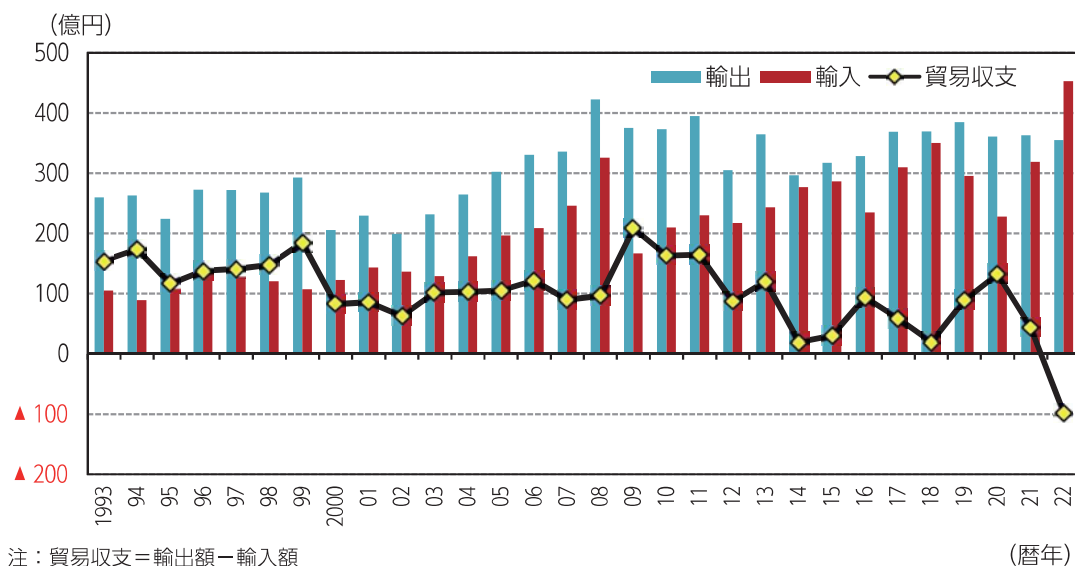
輸出品目をみると、輸出の31%を占める船舶がトップで、以下、セメント、粗鉱物、紙類・同製品などが続いている。輸出先のトップは、船舶のパナマ、次いで、猟銃・同部品などの金属製品のアメリカ、セメントや紙類・同製品の韓国となっており、上位3カ国で50%を超えている。それにシンガポール、台湾、中国、香港などのアジア諸国が続いている【貿易-2】。

一方、輸入品目をみると、石炭がトップで、以下、パルプ、鉄鋼、化学製品となっている。輸入先のトップは、石炭のロシア、次いで、食料品、家具、ニトロメタンの中国となっており、上位2カ国で50%を超えている。それにインドネシア、ニュージーランド、アメリカが続いている【貿易-3】。

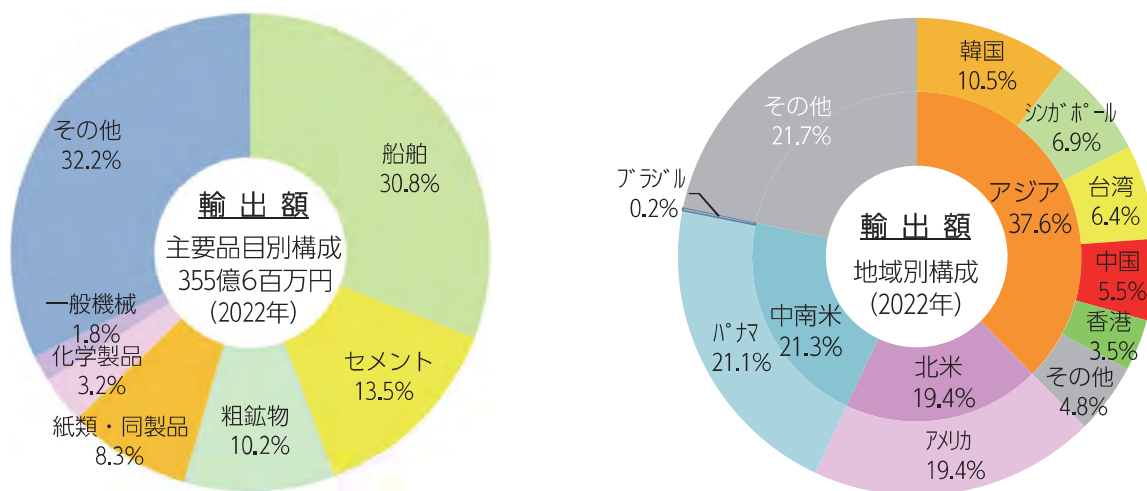
この結果、貿易収支は97億7,500万円の輸入超過となり、集計開始以降初の貿易赤字となった。

また、四国圏貿易額概況をみると、2022年の輸出入総額は、3兆4,993億円、前年比1兆922億円（+45.4%）の増加となった。愛媛県は、地場の造船会社や輸出入取引を行う大企業の工場が立地していることもあり、四国全体の輸出入総額の約70%を占め、高知県の約30倍となっている【貿易-4】。

【貿易-1】 高知県 貿易額の推移

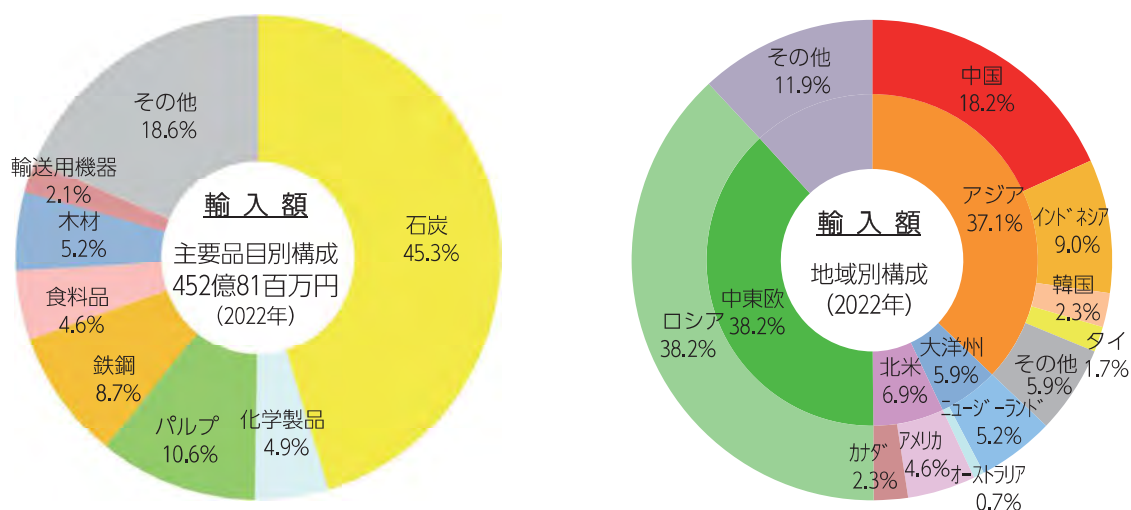


【貿易-2】 高知県 輸出額（主要品目別、地域別）構成比



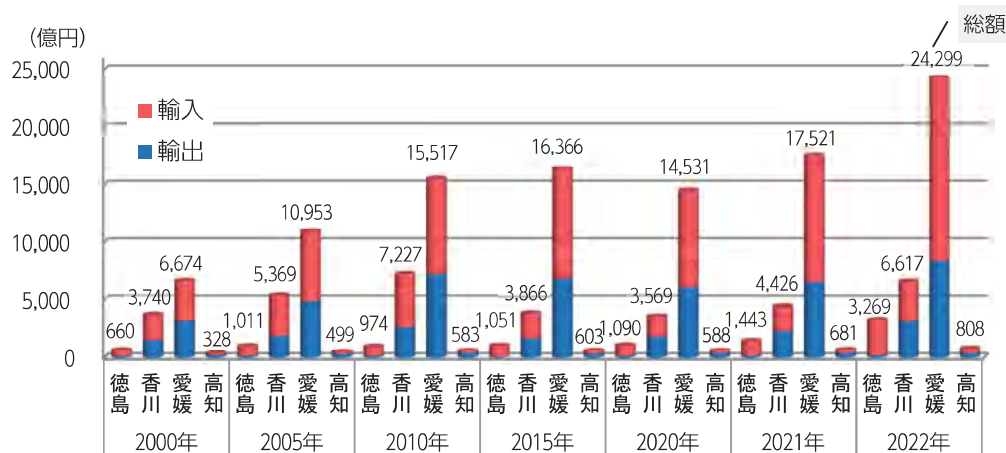
資料：神戸税関「貿易概況」

【貿易-3】 高知県 輸入額（主要品目別、地域別）構成比



資料：神戸税関「貿易概況」

【貿易-4】 四国4県の貿易額の推移



資料：神戸税関「貿易概況」